

分野	項目	内容	予定及び実績
普及啓発	<p>■相談窓口案内「気づいてくださいこころのサイン」を活用した普及啓発</p>	<p>「ひとりで悩まず相談を」というメッセージと相談窓口の情報を広く伝えることを目的に作成。児童生徒を通じて家庭に情報へ届けるため全小・中・高等学校へ配付。待ち時間等に手に取ってもらえるよう病院、薬局、歯科医院へ配架依頼。キャンペーン、研修会等の参加者へ配付するなどの機会を通じ広く周知普及啓発を図る。</p>	<p>全小中学校、高等学校児童生徒教職員へ配付、病院・薬局・歯科医院・ハローワーク等公共施設へ配架、民生委員児童委員・よろず相談センター等関係団体、各種研修会、会議参加者への配付、イベント、キャンペーン等での配布、駅地下広告板を活用し拡大したものを掲示、市民課で転入者用資料として配付、各課に配架、必要に応じて窓口で渡してもらっている。配布約5万枚</p>
	<p>■メンタルヘルスセルフチェックシステム「こころの体温計」を活用した普及啓発</p>	<p>幅広い年齢層にうつへの早期気づきを促すとともに心の健康に関心を持ってもらうことを目的に、パソコンや携帯電話を使って簡単にストレスや心の落ち込み度がチェックできるメンタルヘルスセルフチェックシステムを導入し、サービス提供する。併せて各種相談窓口の情報も掲載。</p>	<p>メンタルヘルスチェックサービス「こころの体温計」のサービス提供。メニュー「本人モード」「家族モード」「あかちゃんママモード」「アルコールチェックモード」「ストレス対処タイプテスト」平成26年度新規メニュー「いじめのサイン守ってあげたい!」、「これって愛?、これってDV?」、「大切な人を突然亡くされたあなたへ」を追加。(県内初)</p>
	<p>■自殺予防週間関連事業</p>	<p>市庁舎へ横断幕掲出「かけがえのない命を大切に」、公共施設へポスター掲示、街頭キャンペーン、広報ひらつか、地区公民館だより、男女共同参画メルマガ、HP等へ関係記事掲載、報道機関への情報提供、FM湘南ナパサでのメッセージ発信、図書館での「こころと命のサポートのための本」コーナー設置と「こころと命のサポートのための本」のリスト作成。</p>	<p>・ポスター掲示、心の健康についての記事掲載、FM湘南ナパサでの情報発信、図書館での「こころと命のサポートのための本」のコーナー設置、映画上映、街頭キャンペーン(県共催)、講演会・シンポジウム(県共催)、包括相談会(県共催)平塚駅構内へ相談窓口案内配架。</p>
	<p>■自殺対策強化月間関連事業</p>	<p>日ごろから本を通じた地域活動をしている団体と読み聞かせ等の活動を通じて「命の尊さ」の普及啓発を協働で実施。協働先団体：浜岳中学校区子ども読書活動推進協議会</p>	<p>・駅、公共施設等にポスター、リーフレット等掲出し情報提供。中央図書館へ特設コーナー設置。返却スリップ(返却期限を記載して貸出時に渡すしおり)にこころの体温計ほかメッセージを記載したものを期間中使用。こころと命のサポート特集映画会。「わかちあい・交流会」の開催。</p>
	<p>■命の尊さの普及啓発(協働事業)</p>	<p>日ごろから本を通じた地域活動をしている団体と読み聞かせ等の活動を通じて「命の尊さ」の普及啓発を協働で実施。協働先団体：浜岳中学校区子ども読書活動推進協議会</p>	<p>協働事業で作成した「いのちの尊さをつたえる本」vol.1～3のリストから選んだ本を、読み聞かせに活用してもらう。他の協議会にも配付し取り組みを紹介し周知・活用を図る。(7/4代表者会議にて依頼)浜岳中学校から協力をもらい、自殺予防啓発ポスターの作製と街頭キャンペーンへの協力(美術部員・駅地下道へ掲出)、保育園ボランティア(子どもたちとのふれあいと通じて生きる力、命の大切さを感じてもらう事業)を実施。浜岳中学校区子ども読書活動推進協議会会報に「協働事業」の取り組み記事掲載、自治会回覧。ホームページにいのちの尊さをつたえる本の中から、毎月2冊選び「今月のおすすめ本」コメントをつけて紹介。今井亮太郎氏(元花水小学校長子息)よりコンサート収益から小中学校に「いのちの大切さを伝える本」の寄贈(8/26予定)</p>
<p>■視聴覚教材を活用した普及啓発</p>	<p>いじめの問題や命の大切さをテーマとしたDVDやビデオを学校の道徳授業や人権教育に活用してもらうよう貸出しをする。</p>	<p>11タイトル所蔵 作品リストを作成し、学校の人権教育担当者会で紹介(5/9)。道徳授業、人権学習会などでの活用を図る。</p>	

分野	項目	内容	予定及び実績
■ 広報活動		リーフレット配布、HPでの情報提供、FMナパサを活用したメッセージ発信、機関紙等に関連記事掲載。	広報ひらつか(9月第1金曜日、3月)関連記事掲載、FM湘南ナパサ(4月29日、9月9日、12月、3月)関連内容放送、機関紙(地区公民館だより、人権男女メルマガ)、HP、ポスター等を活用した情報提供、メッセージ発信。
人材育成	■ 講演会等	命の大切さ、人と人のつながり、家族の絆、心の問題等をテーマにした講演会を実施。	【生き方・命の大切さを考える講演会】(中学校との共催企画)中学生に命の尊さを伝えるとともに自己肯定感を高めてもらう講演会を実施(保護者にもよびかけ)10月23日(山城中学校)3月3日(神明中学校)で実施。
	■ ゲートキーパー養成	自殺問題への正しい理解を深めてもらうとともに、身近な人の様子の変化に「気づき、声をかけ、話を聴き、必要に応じて相談へつなげ、見守る(支え合う)」ことの大切さを伝えるために、「ゲートキーパー手帳」及び「こころといのちのサポート」の冊子を活用した研修会を実施する。また、情報宅配便のメニューとしても提供。	①新採用職員4/4…、②保健福祉研修5/27…、③理容組合10/7…、④人権教育担当者9/25、他庁内職員、出前講座等を通じて実施予定 ※ 受講後に、グリーンのピンバッジを配付(神奈川県支給)修了者に県が作成するリボンバッジを配付し、ゲートキーパーへの理解を広げていく。
	■ 自殺対策研修会	市民、関係団体、職員等を対象に実施。また、神奈川県等が実施する研修会に職員を派遣し職員の資質向上を図る。	【自殺対策庁内会議研修】7月30日(生活困窮者自立支援法施行に伴う自殺対策との連動について)【保健福祉研修】(担当者受講研修)【自殺対策基礎研修】6/10【ゲートキーパー養成指導者研修】6/23【ゲートキーパーフォローアップ研修】7/23
推進体制	■ 自殺対策庁内会議	庁内関係19課の課長職により構成。関係各課の連携・協力体制の構築、情報共有のために設置。	①7/30会議(研修) 年2回 開催予定
	■ 自殺対策担当者会議	市民から寄せられる様々な相談が適切な支援につながるよう、担当者どうしの連携、情報の共有を図り、また自殺対策に関する知識を深めていくために開催。庁内関係19課の担当職員+平塚保健福祉事務所、社協、警察職員で構成。	①7/30会議(研修)、他事例検討会等 年2~3回開催予定
	■ 平塚市自殺対策会議	平塚市民のこころと命を守る条例第16条に基づき、総合的な自殺対策を推進するため、平成22年度に設置。平成25年度から附属機関として位置づけとなる。	会議 8月1日(火)14:00~16:00
■ 自殺者等の実態把握	内閣府「地域における自殺の基礎資料」(警察庁自殺統計ベース/厚生労働省人口動態統計ベース)等から入手できるデータによる実態把握。自殺未遂者については、救急搬送(自損)件数による人数等の把握(消防救急課) 自損事故救急搬送件		

その他	<p>数・・・平成24年中(184件出動、161人搬送) 平成23年度中(216件出動、178人搬送)</p> <p>■ 福祉総務課 保健福祉総合相談</p>	<p>保健福祉総合相談に寄せられる相談については、内容を聴き取り必要に応じて関係課、関係機関へつないでいる。離職によって住宅や生活に困窮した方に対する制度である住宅支援給付についての相談の場合は直接対応(社協への貸付案内を含む。)</p>	<p>保健福祉に関する電話相談、来所相談や住宅支援給付相談、に対応。関係各課、関係機関との連携及びつなぎに際し専門知識が必要となる困難ケース等の相談については社会福祉士が対応している。</p>
	<p>■ 自死遺族支援</p>	<p>自死遺族の方が利用できる専用の相談窓口を周知する。 自死遺族の方への理解を深めるための研修等を実施する。 自死遺族の方を対象とした分かち合いの会のあり方について検討する。</p>	<p>自死遺族の方が利用できる専用相談窓口、分かち合いの会の情報を周知。わかちあい・交流会実施予定(3月)</p>
	<p>■ 視察等</p>	<p>平塚市民のこころと命を守る条例、こころと命のサポート事業に関する行政視察</p>	<p>7/15 埼玉県鴻巣市議員 文教福祉常任委員会</p>